

より山形勢押寄せ鯨波を揚れ、城中にも圍を金
大に北門を突き切て出て平は搦てり我じしうあま
ハ大勢ありきを入替ひ攻め、城中ハ小勢力を合
るものもなく疲れけり少あは計れにたり城中の
女帝ハ我先とて逃行く城ハ早火掛れ、宮河江
余も若し火に入て死をも有り腹切ものも有りて
目も當てられぬ有様ありき此戦ハあまの兵七十三
人討れ手負二百余人、城中北者三百七十八人とり討へ
ける山形勢勝因を揚け城を奪取し人馬の息を休
めけり

谷地

谷地町禪宗東林寺の過去帳

谷地古城主白鳥十郎藤原長久

大陽院殿丹山雁公大禪定門

天正十甲申年六月七日

明治十六年未九月東林寺に於て三百年間の法
事執りあり

陸奥磐井郡平泉白鳥館跡

白鳥村にあり安倍貞任の弟白鳥八郎行任の居
館跡あり

平泉法にあり参考の爲寫